

はんど to はんど

福祉であいの広場

～みよう！ふれよう！福祉機器！！～

皆様のご来場 お待ちしています。
(詳しくは、6ページにて)



<昨年の様子>

平成 20 年
10 月 1 日

No.103

防災 シンポジウム

～災害に強いまちづくりを考える～

1月19日(日)開催
「防災シンポジウム」第2部より

鶴舞自治会
元会長 三島 康弘 氏



「地域住民が支えあうシステム」は、やっていることに継続性がなければ、いずれは捨てられたり、変更され何をしたらいいのか分からなくなってしまう。そのため、継続性をもってやるのが大切です。

地域の高齢化を理解しよう

「この地域、坂戸に住んでいて良かった」と言えるような温かい地域作りを進めるには、高齢社会へ突入していることを皆で理解し、

それぞれの役割に機能することが、非常に大切だと思います。

鶴舞地区の年齢層別人口を見ると、60～64歳の方が一番多く、高齢化率が21%を越えています。

坂戸市が40年代の後半に、人口伸び率が日本が一番だったことがあり、その頃に坂戸市に移住された方がおおよそ40歳代であったことから、それから30年経ち、70歳前後又は80歳に手が届く方が非常に多くなったといえます。

この方達を「元気な高齢者にするために」又、「元気でなくなった方をどうするか」を、組織的に考えていかななくてはならないことが現段階の課題といえます。また、もう一つの課題は、55～69歳の方で、10年もすれば身体的に大変になる方々が、現在で36%いることです。10年先は我が身も大変になってくるということ、この世代の人に理解してもらうことも大切なことと考え、10年先を考えて「地域作りに参加しよう」、「積極的に色々な行事に参加して、仲間作りをしよう」と呼びかけています。

次に、一番少ない40～59歳の方達が、10年後は地域の担手になる訳ですが、高齢者数と比較すると、非常に少ないことが分かります。そのため、この方達だけに頼ろうとすると、当然無理が出てくることになり、高齢者自身

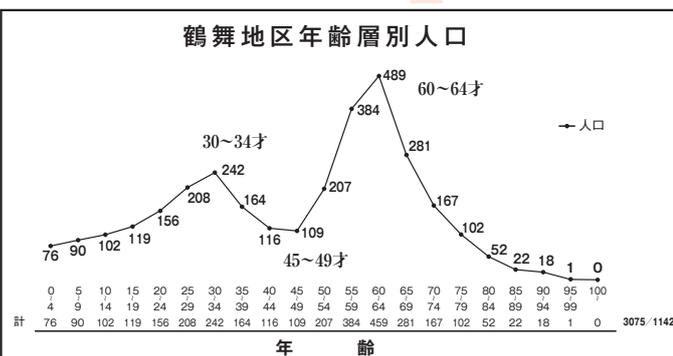
もやはり元気な高齢者でい続けるということも大きな課題になっていきそうです。

20～40歳の方は26%で多い世代ですが、この方達にも、もう少し地域の活動に参加して頂けるような気運作りが大切だと考えます。

少子社会で貴重な小中学生については、地域の宝として大切に扱っていききたいものです。地域の方々と会っても、挨拶もしないというのでは、将来非常に寂しい世間になってしまいますから。

このように、あと10～15年後の街の状況を考えると、何も考えずに過ごしては行けないということが容易に想像でき、この地域で暮らす者として多くの課題を感じてきました。でも、これらの課題も「今動き出せば間に合う」という思いから、共助、協働の社会を作ることに住民が参加して、それが一つの地域の文化となるような「あたたかい地域づくり」を呼びかけているのです。

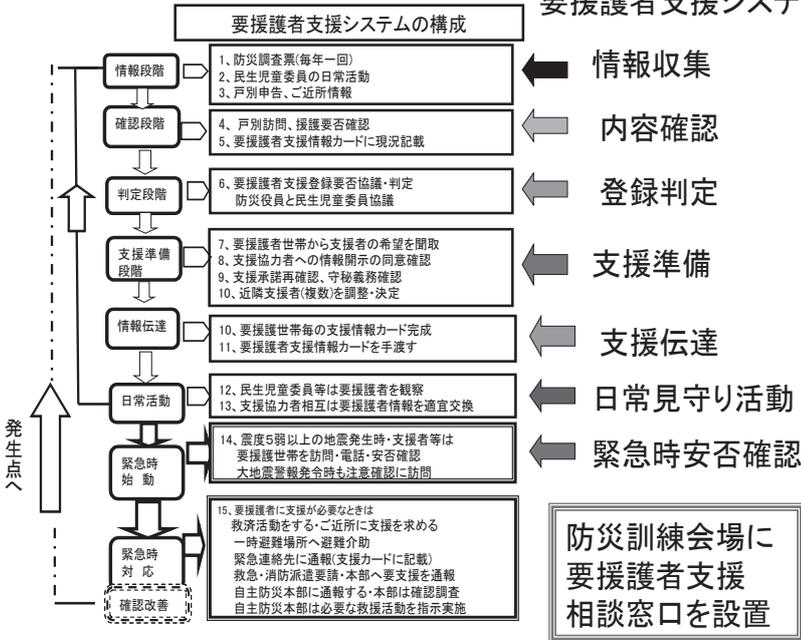
鶴舞地区年齢層別人口



高齢社会突入の準備は？

現在、鶴舞地区では「人命尊重第一」をテーマに、あたたかい環境作りの取り組みとして、班長・ブロック長が主体となり、地域内防犯パトロールや小・中学校の通学路防犯見守り活動をおこなっています。このような取り組は、日頃疎遠になっている自治会員同士の交流を図ることもできます。

要援護者支援システム



コーディネーター
高橋 儀平 氏

(東洋大学ライフデザイン学部
人間環境デザイン学科 教授 工学博士)

「災害は、忘れた頃にやってくる」とよく言うが、2007年だけでも「能登半島地震」「新潟県中越沖地震」、「台風4,5,9,11号」が、全国各地に甚大な被害をもたらした。坂戸市でも例外ではない。

そして、いずれの場合も高齢者や障害のある人が罹災する割合が高く、防災にとっての大きな課題である。

災害に備えて市民は何をすればよいのか、あるいは何ができるかを考えるに、防災は、日常的な様々なコミュニティ活動や、住民主体のまちづくりと密接に関係しており、むしろそのものでないかと考える。

キーワード：「地域力」「継続性」

- ・ 地域住民が自分たちを理解すること。
- ・ 支え合う、向き合うのに今なら間に合う。
- ・ 絶えず変化する組織や学校、子ども、地域に対応するあたたかい地域作りの必要性。
- ・ 地域と、専門機関、社協、行政との役割確認の必要性。
- ・ 自主防災組織は地域社会の文化である。

以上を総合的に見ると、「防災、防犯」は「まちづくり」の原点であり、そのものであると捉えられる。

また、公募や自主参加者で構成された「まちづくり委員会」の中の『高齢化検討部会』では、高齢者が元気に過ごせるような事業を市や大学と連携して開催したり、小学生を講師にしたパソコン講習を企画したりと、高齢社会の到来に備えた活動も行っています。

防災活動でいうと、平成13年に自主防災組織を立ち上げ、特に「災害時にご自身や家族で対応できない世帯を、地域で忘れないでいよう!」と対策を考え、災害時要援護者の情

報把握から始め、地域の民生委員と連携し、日常の見守りにも機能する「緊急時要援護者支援システム」を作成しました。毎年、地域内全世帯に記入してもらった防災調査票等は、災害発生時のみならず、「地域住民が支えあうシステム」の基盤になっていると感じます。

このように自主防災活動は、諸課題を見据えた地域活性化の原動力にもなると捉えています。

ワークキャンプ

～シャローム・ガーデン坂戸～

施設での共同生活と介助体験、高齢者とのふれ合いの中から、普段感じることのできない想いや、学ぶことがあったようです。



8月1日(金)～3日(日)の2泊3日間、高校生・大学生等を対象にワークキャンプが開催されました。

今年の参加者は、3名と少人数でしたが、



さがど水辺環境教室



すじエビ・オイカワ・アブラハヤ...
アコもとれたよ!

環境保全活動に取り組んでいる「NPO法人環境サポート埼玉」と共催で、7月29日(火)・30日(水)の2日間、体験的な学習から将来地域を担う子供達に、環境保全を考え、行動していくことの大切さを学ぶことを目的に「さがど水辺環境教室」を開催しました。



1日目は26名の参加があり、高麗川の魚類調査や水質検査などを体験し、2日目は学んだ内容をそれぞれまとめ、夏休みの自由研究としました。
また、来年も開催しますので、今年申込みできなかったキミ！来年は一緒に川へ入ろう！

この夏の体験・感動 忘れない！

125人の夏！体験ボランティア 終わる



平成19年度 事業報告

平成19年度の重点事業や、新たに取り組んだ事業を中心に、事業概要と決算状況について報告します。

● 会員募集

6、7月を強化月間とし、多くの市民の方にご理解をいただき会員となつて頂きました。

● 社会福祉協議会だよりの発行

本会広報紙「はんどtoはんど」を年3回作成し、主要事業や地域福祉の情報を掲載し全世帯へ配布しました。また、ホームページも毎月更新し、最新の情報発信もおこないました。

● 法人化30周年記念

第26回福祉大会の開催

平成19年10月13日(土)に坂戸市文化会館において、社会福祉事業の進展に功績のあつた方々の表彰、福祉体験発表、福祉講演「安心して住める地域を目指す」(講師：堀田力氏)を開催しました。

● 法人化30周年記念誌の作成

昭和52年の設立総会からの活動内容をまとめ、記録資料として作成し、関係者へ配布しました。

● 防災シンポジウムの開催

法人化30周年記念事業として、平成20年1月19日(土)坂戸市コミュニ

ティセンターで開催したシンポジウムでは、長岡市社会福祉協議会 本間和也氏の基調講演の後、「災害要

援護者の支援について、地域住民が

どのように考え、進めていくべき

か」を考える場として、活発なディス

カッションがおこなわれました。

● 福祉であいの広場の開催

平成19年10月21日(日)に「障害者

スポーツ教室」と同時開催された広

場には、55団体の参加と約4千70

0人の市民の皆さんにご来場いた

たき、暖かいであい・ふれあいがも

れました。

● 敬老会・第38回報恩会

多年にわたり社会に尽くしてきた

高齢の方々に敬愛し、長寿を祝うた

めに平成19年9月17日(敬老の日)

に開催されました。

● 手話通訳派遣事業

聴覚障害者の日常生活におけるコ

ミュニケーションを円滑に行うため、

依頼に応じ延べ472人の手話通訳

者を派遣しました。

● 福祉サービス利用援助事業の推進

生活のさまざまな場面で権利を侵

害されやすい認知症高齢者や障害者

● 低所得階層更生事業

民生委員・児童委員との連携のもとに、生活福祉資金貸付、緊急生活

援護、生活つなぎ資金貸付を決定し、

必要な援助を行いました。

● ボランティア運営委員会の開催

ボランティアセンターの機能拡大

及び充実を図るため、「さかどボラ

ンティア・市民活動センター」化に

向けて協議を行いました。

● ボランティア体験プログラム事業

福祉について体験的に学び、ボラ

ンティア活動を始めるきっかけとす

るための事業を関係機関・団体との

協働のもとに展開し、延べ107人

が体験されました。

● 心配ごと相談所事業

悩み、困りごとを持つ市民誰もが

無料で利用できる相談窓口として、

地域ごとに定期的に開設し、30件の

相談に対応しました。

● さかどふれあいセンターの運営

同じ住民同士が「支え」「支えられ」

の関係を会員制として展開し、延べ

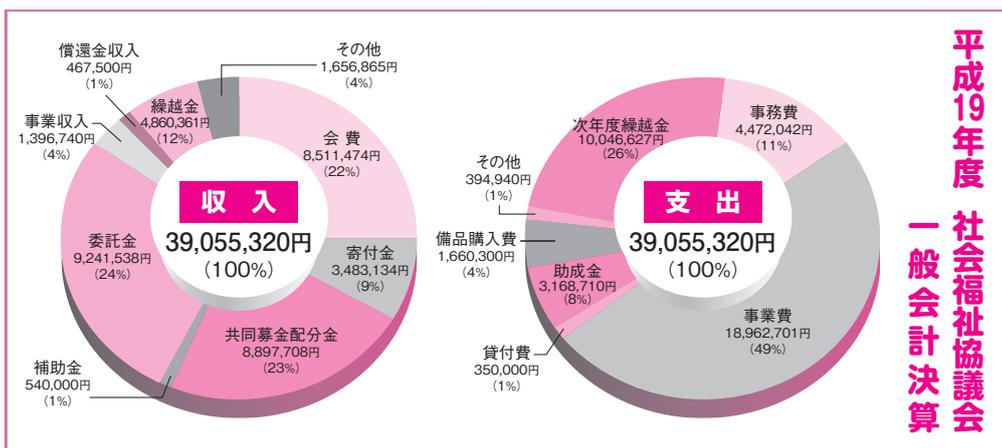
811回の利用がありました。

● 共同募金運動の推進

10月1日から「赤い羽根共同募金運動」、12月1日からは「歳末たすけあい運動」を実施し、皆様からいただいた募金を適切に配分しました。

平成19年度 社会福祉協議会

一般会計決算



福祉であいの広場 2008

～ みよう! ふれよう! 福祉機器!! ～

と き：平成**20**年**10**月**19**日(日)

午前**9**時**45**分～午後**3**時

ところ：市民総合運動公園体育館及び駐車場

手話通訳・要約パソコン有

福祉に関わる人々が一堂に会し、展示・体験コーナー、ステージコーナーにおいて各団体が日頃の活動内容を発表します。

各ブースでは、様々な福祉体験ができ、バザーコーナーや模擬店で買い物が楽しめます。

スタンプラリーやお楽しみ抽選会もあるので、ぜひご家族皆さんでお越しください、いろんな人とであい・ふれあってください!



福祉機器展

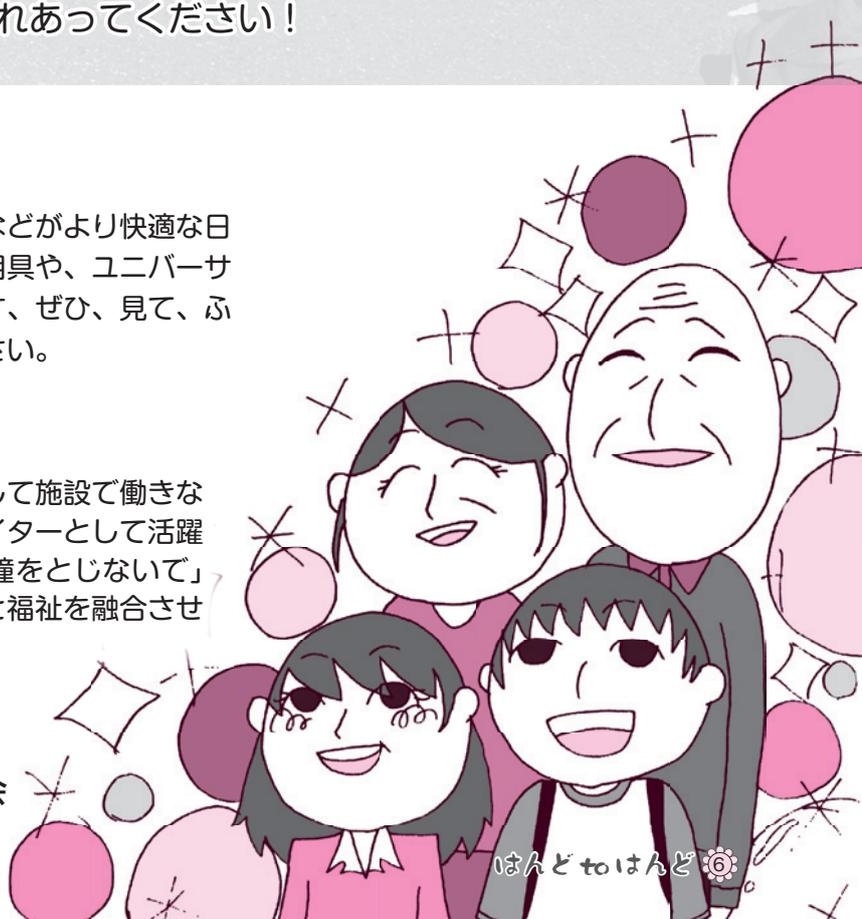
高齢者や介護する家族の方などがより快適な日常生活を過ごすための福祉用具や、ユニバーサルデザイン商品を展示します、ぜひ、見て、ふれて、たしかめてみてください。



えりのあライブ

社会福祉士・介護福祉士として施設で働きながら、シンガー・ソングライターとして活躍中。6月にミニアルバム「瞳をとしなくて」でメジャーデビュー。音楽と福祉を融合させて幸せを運びます。

主催：坂戸市・坂戸市社会福祉協議会
主管：福祉であいの広場 2008 実行委員会



ステージプログラム

9:45	開会式 参加団体アピール
福祉機器展示・バザーをお楽しみください	
12:00	歌と踊り(NPO法人こすもす)
12:20	活動紹介、歌、ダンシング (NPO法人ほてとto地域福祉の会)
12:40	ハンドベル演奏、活動発表 (よりあい*ええげえし)
1:00	大型紙芝居の発表(あじさいの会)
1:20	作業所紹介(坂戸第1・第2福祉作業所)
1:30	「えりのあ」ライブ
1:45	お楽しみ抽選会
2:00	全員合唱 閉会式

展示・体験コーナー

様々な福祉体験や、各福祉団体の活動内容の展示を行います。

模擬店

各福祉団体が、やきそば等の販売を行います。

バザーコーナー

授産施設で作成した商品の販売やバザーを実施します。



駐車場には限りがございますので、であいの広場専用無料巡回バス及び市内循環バス(有料)をご利用ください。

無料巡回バス運行



会場行

停留所名	時刻表		
西坂戸三郵便局	9:15	11:00	
大家公民館	9:30	11:15	
鶴舞入口	9:40	11:25	
土屋神社	9:45	11:30	
住吉中学校	9:45	11:20	12:40
三芳野公民館	9:40	11:15	12:45
東坂戸バスターン	9:30	11:05	12:55
若葉駅東口	10:20	12:00	13:35
坂・鶴下水道組合	10:30	12:10	13:45
入西小学校	9:15	10:10	13:40
坂戸駅北口	9:55	11:00	11:40
	12:00	12:45	
北坂戸駅東口	9:30	10:25	11:10
	11:50	12:55	13:25

会場発

停留所名	時刻表		
西坂戸三郵便局	14:25 ①	15:15 ①	
大家公民館	14:25 ①	15:15 ①	
鶴舞入口	14:25 ①	15:15 ①	
土屋神社	14:25 ①	15:15 ①	
住吉中学校	13:30 ①	14:30 ②	15:20 ②
三芳野公民館	13:30 ①	14:30 ②	15:20 ②
東坂戸バスターン	13:30 ①	14:30 ②	15:20 ②
若葉駅東口	11:45 ②	13:20 ②	15:20 ②
坂・鶴下水道組合	11:45 ②	13:20 ②	15:20 ②
入西小学校	13:15 ③	15:15 ③	
坂戸駅北口	11:40 ③	12:30 ③	14:25 ①
	14:30 ③	15:15 ③	
北坂戸駅東口	11:40 ③	12:30 ③	13:15 ③
	14:30 ③	15:15 ③	

※太字は市内循環バスの停留所。○の中の数字はバス番号。

赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

10月1日から「地域の福祉、みんなで参加」をスローガンに全国一斉に募金運動が始まります。

皆様から寄せられた善意は、埼玉県共同募金会に一度集められ、そこから「児童・障害者・老人ホーム等の福祉施設」や「各市町村社協の福祉活動費」に配分され、毎年有効に活用されています。

今年も、皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

※寄付金には税制上の優遇措置があります。

坂戸市 20 年度目標額

9,854,000円

昨年度、皆様からお寄せいただいた募金額は

9,324,991円でした。

ご協力ありがとうございました。



赤い羽根のホームページ

あかい はね

www.akaihane.or.jp

ホームページで、

赤い羽根共同募金の活動内容がわかります。

◇赤い羽根入門クラブ ◇子どもクラブ ◇社会貢献クラブ

◇運動統計 ◇インターネット赤い羽根募金 ほか

地域での

ふれあい活動を

応援します！



歳末たすけあい運動の募金を財源として、高齢者や障害者など、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていただけるよう、地域の中で自主的な『交流会』、『ふれあい活動』等を実施する個人又は団体に対して助成を行います。

1 対象助成

- (1) 小地域でふれあい活動を自主的に実施する個人及び団体
- (2) 5名以上40名以下で11月～平成21年2月に実施する事業。(助成は上限4回まで)
*ただし、飲食店等を会場にした事業、飲酒が入る事業は助成の対象となりません。

2 助成金

会場借上げ料・材料費・会食代等実費額の1/2とし、1人当たり300円を上限とする。

3 助成金の申請

申請希望の方は、説明会に必ずご出席ください。説明会終了後、申請用紙をお配りします。

4 問い合わせ

坂戸市社会福祉協議会 電話 283-1597 FAX 289-3911

< 説明会 >

日 時	平成20年10月15日(水) ①午前の部：午前10時～ ②午後の部：午後1時30分～ ※どちらか時間を選んで参加してください。
場 所	坂戸市役所 304 会議室

広 告

～ 広 告 募 集 ～

ご覧の「はんど to はんど」へ掲載する広告を募集しています。

- ◆掲載方法 年4回発行「はんど to はんど」へ掲載
- ◆掲載規格 縦50mm×横90mm
- ◆掲載料金 1号につき 1区画 15,000円

*その他詳細は、本会窓口配布の「社会福祉法人坂戸市社会福祉協議会有料広告取扱要綱」のとおりです。

【申込み・問合せ】 社会福祉協議会 ☎283-1597 まで



皆様とともに未来へ進む

愛され親しまれる商工会

商工会の目的は企業の繁栄と地域の発展です。

商工業の方々からの金融・税務・経営等の相談に応じています。

どうぞ
ご利用
下さい。

会員募集中

商工業を営んでいる方ならどなたでも入会できます。



坂戸市商工会

URL <http://www.sakado.or.jp>

TEL 049-282-1331
FAX 049-282-1302

〒350-0229 坂戸市薬師町31-3

出張

配ごと相談所



あなたの "心" 元気ですか？

悩みごとや困りごとで、心がちょっと苦しくなってきた時、気軽に相談できる窓口です。相談まで少しお待ちいただくこともありますが、予約せず無料で相談できます。

開設場所	開設時間	開設月			
	午前9時～12時	10月	11月	12月	平成20年1月
三芳野公民館	第1火曜日	7日(火)	4日(火)	2日(火)	6日(火)
勝呂公民館	第2水曜日	8日(水)	12日(水)	10日(水)	14日(水)
北坂戸出張所	第3木曜日	16日(木)	20日(木)	18日(木)	15日(木)
入西公民館	第4金曜日	24日(金)	28日(金)	26日(金)	23日(金)
大家公民館	第2月曜日	—	10日(月)	8日(月)	—
西坂戸自治会館	第3水曜日	15日(水)	19日(水)	17日(水)	21日(水)

(開設日が祝日の場合は、お休みです)

皆さんからの善意

平成20年5月28日から9月11日まで(順不同・敬称略)

【現金の部】

- ・七宝第二クラブ 5,000円
- ・伊豆の山町西町内会 45,000円
- ・栗生田鳴子連 3,000円
- ・女子栄養大学 栄養学部 保健栄養学科 保健養護2年 16,265円
- ・埼玉土建 坂戸支部 坂戸西分会 4,000円
- ・入西地区ゴルフ大会実行委員会 98,000円
- ・磯崎 利至 2,000円
- ・石垣 まさひろ 5,000円
- ・坂戸民主商工会 41,443円
- ・生涯学習課 地域ふれあい事業あさばの寮保護者 2,263円
- ・大家児童センター 1,560円
- ・坂戸双葉山草会 6,400円
- ・ビアーズ 5,000円

- ・ふなとや 10,000円
- ・コーヒーとワッフルの店チキタとお客様一同 ... 4,379円
- ・坂戸山草会 8,000円
- ・坂戸さつきロータリークラブ 10,463円
- ・坂戸市水泳連盟 10,000円
- ・坂戸ライオンズクラブ 50,000円
- ・坂戸美術工芸クラブ 10,000円
- ・匿名(4件) 72,717円

【部品の部】

- ・坂戸市老人クラブ連合会婦人部 雑巾 516枚
- ・デイサービス はるかぜ 車イス 1台
- ・NPO 法人パイロット日本基金 車イス 5台
- ・匿名 切手 100枚

ありがとうございました

6 「歌ってあそぼ！」へ みんなおいでヨ！

子育て親子と高齢者の交流サロンです。ハロウィーンの雰囲気を楽しみひとときを一緒に過ごしましょう。(出入り自由)

日 時 10月14日(火)10:00～11:30
場 所 文化施設「オルモ」(芦山町1-2)
参加費 200円(保険代等)
問合先 歌ってあそぼう会 荻原
☎090-6501-5177



学 ぶ

心の病についての予防 パート1

7 『講演会:ストレスマネジメントってなあ〜に』

NPO 法人オリエントでは共同募金の配分を受けて、精神保健社会啓発事業を開催します。

日 時 11月8日(土)13:30～16:00
場 所 ワークプラザ(石井2327-5)
講 師 (株)東京ストレスマネジメント
代表取締役 今井 功氏
定 員 80名
参加費 500円
申込先 ゆめきた工房 ^{たかみ}高見
☎282-4708 ☎282-4712

8 心の病についての予防 パート2『交流会』

体操やゲームを通じて、地域の皆さんと交流を図ります。

日 時 11月30日(日)13:00～15:00
場 所 女子栄養大学 体育館(千代田3-9-21)
講 師 女子栄養大学教授 金子 嘉徳氏
定 員 50名
参加費 500円
申込先 ゆめきた工房 ^{たかみ}高見
☎282-4708 ☎282-4712

9 視覚障害者のためのパソコン体験講座

視覚障害者とご家族、サポーターの為に音声読み上げソフトを用いたパソコン体験講座です。初心者の方でも、充分ご理解いただける内容です。

日 時 11月15日(土)、16日(日)10:00～16:00
場 所 デイケア鶴ヶ島(鶴ヶ島市藤金901-54)
定 員 10名
申込先 坂戸パソコンボランティア 稲川
☎281-6975

10 聴覚障害者支援ボランティア養成講座

聴覚障害者を支援するボランティアを養成する講座です。耳が聞こえない、聞こえにくい方へのサポート方法(交流・手話・要約筆記)について一緒に学びませんか?

日 時 11月1日(土)～12月13日(土)
10:00～12:00
場 所 埼玉県立坂戸ろう学校 会議室
定 員 25名
参加費 1,000円(資料及びボランティア保険)
申込先 さかどボランティア・市民活動センター
☎283-1597



ボランティアセンターからのお知らせ

11 ボランティアサロン

毎月、第4木曜日はボランティアの日とし、ボランティア活動に関する相談を行っています。情報交換や仲間作りの場としてもご利用ください。

場 所 ボランティアビューロー
(コミュニティセンター内)
時 間 9:00～15:00

日 ち	内 容
10月23日(木)	車椅子体験
11月27日(木)	朗読体験
12月18日(木)	聞こえないって?

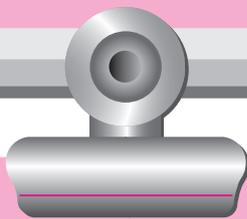
*12月は第3木曜日ですので、ご注意ください。

12 使用済み切手を集めています！

消印が押してあり、紙がついたままの「使用済み切手」を回収しています。集まった使用済み切手は、ボランティアさんの手により整理され、福祉施設の運営資金となります。

各出張所、公民館、一部郵便局等に回収箱がありますのでご協力お願いいたします。





クリップボード CLIP BOARD

ボランティアに関する相談は・・・
さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597
FAX 289-3911



ボランティア募集

1 秋の体験ボランティア

①三芳野児童センター秋まつり ゲーム・おばけ屋敷手伝い

日時 10月18日(土) 10:30～16:00
場所 三芳野児童センター(紺屋150-5)
定員・対象 10名 <高校生・学生>

②福祉であいの広場 会場準備

日時 10月18日(土) 9:00～12:00
場所 市民運動公園 体育館
定員・対象 10名 <高校生以上>

③福祉であいの広場 準備・会場 案内

日時 10月19日(日) 9:00～15:00
場所 市民運動公園 体育館
定員・対象 10名 <高校生以上>
持ち物 昼食代

④デイケアほのぼの 移動付添い

日時 10月19日(日) 9:30～15:00
場所 福祉であいの広場 会場
定員・対象 4名 <中学生以上>
持ち物 昼食代

⑤さかど療護園 利用者の移動・食事介助

日時 10月19日(日) 9:30～14:00
場所 福祉であいの広場 会場
定員・対象 5名 <高校生以上>

⑥さかど療護園 文化祭

日時 10月26日(日)10:00～15:00
場所 さかど療護園(中小坂80-2)
定員・対象 10名 <高校生以上>
持ち物 上履き

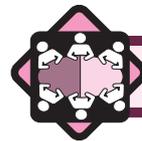
①～⑥ 共通申込先

さかどボランティア・市民活動センター ☎ 283-1597

2 デイケアほのぼのボランティア募集

ご都合のつく曜日や時間帯で、日常作業のお手伝いをしてくださるボランティアさんを募集しています。

日時 土・日以外で応相談
場所 デイケアほのぼの(山田町4-11)
問合せ ほのぼの 北原 ☎289-4045



交流・集う

3 “ダンディー'S”参加者募集

女子栄養大学ECOSでは、50歳以上の男性を対象に『the 丼 with 汁物』をテーマに料理教室を開催します。

日時 10月12日(日)、11月9日(日)、
12月7日(日) 10:00～13:00
場所 女子栄養大学 香友会館(千代田)
定員 10名(3回参加できる方)
参加費 1,500円(500円×3回)
持ち物 エプロン、三角巾、上履き
申込先 さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597

4 “ふれあい料理教室”参加者募集

女子栄養大学ECOSでは、50歳以上の女性を対象に、『ベジタブル☆脱メタボ』をテーマに料理教室を開催します。

日時 10月26日(日)、11月23日(日)、
12月14日(日) 10:00～13:00
場所 女子栄養大学 香友会館(千代田)
定員 10名(3回参加できる方)
参加費 1,500円(500円×3回)
持ち物 エプロン、三角巾、上履き
申込先 さかどボランティア・市民活動センター
☎ 283-1597

5 “あゆみ”里いも収穫祭へ来ませんか?

会員が丹誠込めて育てた“里いも”を楽しく掘りませんか? みんなで収穫をした後は、秋の味覚を味わいましょう。(雨天中止)

日時 11月16日(日) 9:00～11:00
場所 あゆみ農園(石井)
定員 50名(先着順)
参加費 500円
その他 芋掘りができる服装でください
申込先 あゆみ 篠田 ☎281-8644

6月29日(日)文化施設オルモにおいて、第1回「お父さんお帰りなさいパーティー in 坂戸」が開催されました。

このパーティーは、“お父さんお帰りなさいパーティー in 坂戸世話人会”の企画運営により催されたもので、雨にも関わらず64名の参加者が集いました。

当日は、吉永鴻一氏を講師に迎え“地域の志民を目指して”と題したミニ講演に続き、地域で活動している9団体の特色あふれる『活動発表』と『交流パーティー』がおこなわれました。このパーティーで、新たな仲間や居場所を見つけられた方もいて、盛況のうちお開きとなりました。



十数年前、満員電車に揺られて、東京の会社へ通っている時に、もし自分が“サンデー毎日”の身になったら「アレしたいな〜。コレしたいな〜」と思うことがたくさんありました。

しかし、いざ“サンデー毎日”になりますと、自分はここ『坂戸』に住んでいながら、「ここに生きている！」という場所がない。ちょっとキザな言葉で言うと、「心の居場所がない」という気持ちになり、愕然としました。

実は自分の家には帰っていたけれど、地域には帰ってきいていなかったのですね。ぶっちゃけた話し、「お帰りなさい！」と云ってくれる仲間がいなかったということです。

それから、立ち上がるのに3年以上かかりました。今は十数年経ち、毎日楽しくやっておりますが…。



今日は、良い仲間・気の合う仲間
見つけた!! カンパ〜イ!といきたいと思います。

<世話人会代表 中川 和平 氏 挨拶より一部抜粋>

聴覚障害者支援ボランティア養成講座 参加者募集!

	日にち	主な内容
1	11月1日	開講式/聴覚障害の基礎知識、特別支援教育について
2	11月8日	ろう学校「さかどクラブ」に参加
3	11月15日	「聴覚障害者の生活について」手話で自己紹介
4	11月22日	手話で伝え合ってみましょう
5	11月29日	要約筆記の基礎知識
6	12月6日	ノートテイクを体験
7	12月13日	閉講式 交流会

10/20
締め切り

聴覚障害者とコミュニケーションをとる方法は：？同じ地域にある「坂戸ろう学校」の機能や様子をご存じですか？
聴覚障害者の暮らしや、コミュニケーション方法を学び、講座修了後、ボランティアとして活動してみませんか？

日程 11月1日～12月13日 毎週土曜日
午前10時00分～12時00分 【全7回】
会場 埼玉県立坂戸ろう学校 会議室(鎌倉町14-1)
対象者 市内でボランティアとして活動のできる方
定員 25名(定員を超えた場合は抽選)
参加費 1,000円
申込み さかどボランティア・市民活動センターへ
電話 049-283-1597 FAX 049-289-3911

発行/社会福祉法人 坂戸市社会福祉協議会 〒350-0292 坂戸市千代田一丁目1番1号
◇市内65歳以上の高齢者 18,463人 男 8,741人 女 9,722人 高齢化率 18.4% (9月1日現在)



はんど to はんどは、再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。
この「はんど to はんど」は、共同募金の配分を受けて発行されています。

はんど to はんど